

注目ポイント！

林業・農業などの地元産業(地域資源)を活かした体験型観光やイベント等の交流事業を実施。

住民の高い意識により、茅葺き屋根集落の保存等、景観を維持・整備。

観光客数が約54万人(平成13年)から約70万人に(平成17年)に！



冬の茅葺き民家

コラム

重要伝統的建造物群保存地区である「かやぶきの里」には、昔ながらのかやぶき民家が今なお多く残っている。故郷の原風景を思わせる豊かな自然の中で、ゆったりとした時間を過ごし、日常の疲れを癒すことができる。

平成12年5月に、保存地区の北の核となる美山民俗資料館が焼失したが、行政、住民、来訪者等による物資両面にわたる支援により、平成14年10月に再建・復元された。

これまでの経緯

- 平成 元年(1989) 村おこし推進委員会を設置する。自然文化村が開村。
- 平成 4年(1992) 第三セクター美山ふるさと(株)が設立される。
- 平成 5年(1993) 美しい町づくり条例を制定。
「かやぶきの里美山交流する会」が発足。
北集落が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定される。
- 平成 8年(1996) 自然を活かす美山フォーラムを開催。
- 平成 9年(1997) 美山アンテナショップが設立される。
- 平成12年(2000) 山村留学センターを整備。
- 平成13年(2001) 自然文化村をリニューアル。
- 平成18年(2006) 近隣町(日吉町・園部町・八木町)と合併し、南丹市となる

主な取り組み

京のかくれ里「かやぶきの里・美山町」

美山町には213棟の茅葺き民家が残っている。特に、北の集落には、最も多くの茅葺き民家が集まっており、約30棟ある民家の保護・保存に継続的に取り組んでいる。

また、当該地区の美山民俗資料館は、平成12年に火災で焼失したが、再建・復元され、茅葺き民家の様子や美山に住む人達の暮らしぶりを伝えている。



茅葺き民家



ウォーキングの様子

自然を活かした健康のまち

美山には、213戸の茅葺き民家の他、旧美山町の96%を占める山々や、美山川（由良川）、田んぼ等がある。それらの豊かな自然を活かし、健康プログラムの開発やウォーキングルートの設定等を行い、健康のまちづくりを推進。

芦生原生林ハイキング

芦生原生林は、2,000ヘクタールもある広大な森であり、本物の自然を体験することができる。動物や植物、美山町の歴史などを解説するガイド同行のウォーキングプログラムを提供。



ガイド風景

体験型観光の取り組み

美山の山野では、季節ごとに様々な山菜や薬草が採れる。美山では、自然に親しみ、自然や田舎町との付き合い方を理解してもらうための催しとして、野草教室・薬草教室を開催。



野草を摘む人々

問い合わせ先

南丹市役所美山支所産業振興課

Tel : 0771 - 68 - 0042 Fax : 0771 - 75 - 0801

美山町観光協会

Tel : 0771 - 75 - 1906 Fax : 0771 - 75 - 5301